

3人4脚



R4. 6/3(金) 第3号
二宮西中学校学校だより
発行者:和田 智司

結果より過程を・・・心を一つに頑張りましょう!!

～ 保護者の方も、生徒たちと心を一つにし、私たち教職員と一緒に充実感を味わいましょう!! ～



来週の6月11日(土)に今年度最初の大きな学校行事である第43回の体育祭が開催されます。今年度の体育祭も昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながらの開催となりますが、生徒たちには当日に向けて、クラスの仲間、そして色別の仲間と心を一つにし、頑張ってもらいたいと思っています。

クラスメイトと共に練習に取り組めることによって味わうことのできる連帯感と安心感、クラス全員の力で勝利を目指すとする意欲の高まり、それらは集団の中にいて初めて学ぶことができるものです。

当日は我々教職員も、生徒たちと心を一つにし、生徒たちの頑張る姿をしっかりと見守り、その姿を価値づけたいと思っています。保護者の方におかれましては、ご家族2名(子どもは含まない)という制約がありますが、生徒たちの頑張る姿をぜひご覧いただき、充実感を味わっていただけたら幸いです。なお、プログラムは来週お渡しします。

雨にも負けず・・・修学旅行から「プロ」を学ぶ。

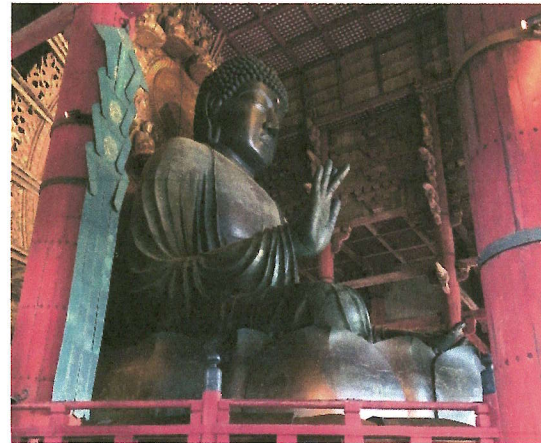
～看護師の奥津さんからいただいたお褒めの言葉をこれからも目指して欲しい。～

5月13日(金)～15日(日)の3日間修学旅行に行くことができました。昨年度は残念ながら実施できなかったことを考えると、修学旅行前日にトラックで送付された生徒たちおよび先生方の荷物が愛おしく思えました。

今回の修学旅行は学年主任の真田先生、そして修学旅行担当の日野先生が2本柱となり、他の学年スタッフもしっかり連携し、素晴らしい企画・運営がなされていたのを感じました。先生方が、修学旅行のパンフレットを見ればどのような動きをとれば良いかわかることを事前に生徒たちにしっかりと指導していました。

3日間同行して下さった看護師の奥津さんから、本校3年生と教員に対して次のようなお褒めの言葉をいただきました。

- ・1日目の朝の集合の様子で、生徒たちがしっかりと話を聞けることがわかりました。
- ・先生方と生徒たちが非常に仲が良く、互いに信頼し合っているのを感じました。・・・と言っても両者は友達のような対等の関係ではないのもいいですね。
- ・生徒たちは、ONとOFFがしっかりできていますね。
- ・生徒たちは、根が素直であるのを感じました。家庭だけではなく、きっと地域の方々からも、大切に育てられてきたことが推測できました。



奥津さんは今まで数多くの学校の修学旅行に看護師として参加しています。私たちのように本校での学校生活にどっぷりとつかっていないだけに、各校の教師や生徒たちを鋭く観察することができると思います。そんな奥津さんが感じた本校の先生方や生徒たちの良いところをこれからも大切にしていって欲しいと思っています。

今回の修学旅行で「さすがプロだな」と感じたことが2つあります。

1つは、1日目の二宮小学校の体育館の中に集合した時のことです。二宮小の柏木先生と学校作業員の小松さんが生徒の靴が濡れないようにブルーシートを体育館の床に用意してくれました。他校の生徒であっても、学校関係者として常に子どもたちのために行動してくれたことに感激しました。

もう1つは、奈良交通のバスガイドの大島さん、運転手の畑さんのお仕事ぶりです。雨の中、幸運にもホテルの前までバスを停車することができました。しかし、ホテルの前は道幅が4m程度あり、歩行者と自転車が多く通行するところでした。そんな中、生徒たちがホテルに入るまで、歩行者や自転車に気をつけるよう注意喚起しながら、生徒たちに傘をさしてくれたことも非常に感激しました。

今回の修学旅行を通じて「さすがその道のプロ」ということを学ばせていただきました。また、体験することの大切さ、そして人の温かさをあらためて感じた修学旅行でもありました。



よりよい人間関係づくりの第一歩は挨拶である!!



私は、朝よく、校庭・体育館・校舎内を歩いています。登校中及び部活動中の生徒と挨拶を交わすことができるのは本当に楽しいです。笑顔で明るい挨拶が返ってくると気分爽快、嬉しくなります。気持ちは晴れ晴れ、今日も一日良い日になりそうだと感じます。そして「今日も一日頑張ろう」そんな気持ちになります。

しかし、うなずくだけで声が全く出ない、目を合わせない、という挨拶が返ってくると、私までとても重く暗い気持ちになります。そんなとき、挨拶を交わすというのは、単に言葉を交わすことにとどまらず、お互いの気持ちも交わしているのだと実感します。

詩人の長田弘さんは「なつかしい時間」という著書の中で、挨拶について次のように述べています。『挨拶という言葉のとは、アイは押す、サツは押しかえすという意味で、相手あつての言葉だ。声を掛ける、それに応じる。見知らぬ者同士が、声を掛け合うことでお互いをそこに認める言葉である。』挨拶の一言で、お互いに認め合い、いたわり合うことができることは、実に素晴らしいことではありませんか。

私は、よりよい人間関係づくりの第一歩は挨拶であると確信しています。自分がどういふ挨拶をしているか、自分の挨拶を相手はどう受け取っているか、自分ではなかなかわからないものです。本当に相手に伝わる挨拶ができていないか、積極的に挨拶しているか、私自身もう一度自分の挨拶の仕方やその質について、しっかりと考えたいと思います。みなさんも温かい心の交流のために、自分の挨拶を振り返ってみていただけたら幸いです。